

## 令和5年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第2回学校運営協議会 報告

1. 日時 場所	令和5年12月6日(水) 午前13時00分から15時00分 交野支援学校四條畷校会議室																																				
2. 出席者	<p>【学校協議会委員】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">高塚 良則</td> <td>元大阪府立支援学校長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加藤 美朗</td> <td>関西福祉科学大学教授</td> <td style="text-align: right;">(欠席)</td> </tr> <tr> <td>北口 信二</td> <td>北河内東障害者就業・生活支援センター長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杉本 匡子</td> <td>(社) るうてるホーム軽費事業部長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>坪井 安嗣</td> <td>四條畷市砂自治会長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>坂田 雅子</td> <td>大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長</td> <td style="text-align: right;">(欠席)</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">篠川 一樹</td> <td>准校長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溝部 晃輔</td> <td>教頭</td> <td style="text-align: right;">(欠席)</td> </tr> <tr> <td>目良 孝</td> <td>課長補佐</td> <td></td> </tr> <tr> <td>筒井 大輔</td> <td>教諭・中学部主事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>村上 智則</td> <td>首席・高等部主事</td> <td style="text-align: right;">(欠席)</td> </tr> <tr> <td>竹田 良信</td> <td>首席</td> <td></td> </tr> </table> <p>傍聴希望者0人</p>	高塚 良則	元大阪府立支援学校長		加藤 美朗	関西福祉科学大学教授	(欠席)	北口 信二	北河内東障害者就業・生活支援センター長		杉本 匡子	(社) るうてるホーム軽費事業部長		坪井 安嗣	四條畷市砂自治会長		坂田 雅子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長	(欠席)	篠川 一樹	准校長		溝部 晃輔	教頭	(欠席)	目良 孝	課長補佐		筒井 大輔	教諭・中学部主事		村上 智則	首席・高等部主事	(欠席)	竹田 良信	首席	
高塚 良則	元大阪府立支援学校長																																				
加藤 美朗	関西福祉科学大学教授	(欠席)																																			
北口 信二	北河内東障害者就業・生活支援センター長																																				
杉本 匡子	(社) るうてるホーム軽費事業部長																																				
坪井 安嗣	四條畷市砂自治会長																																				
坂田 雅子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長	(欠席)																																			
篠川 一樹	准校長																																				
溝部 晃輔	教頭	(欠席)																																			
目良 孝	課長補佐																																				
筒井 大輔	教諭・中学部主事																																				
村上 智則	首席・高等部主事	(欠席)																																			
竹田 良信	首席																																				
3. 次第	<p>(1) 准校長あいさつ</p> <p>(2) 「授業アンケート等について</p> <p>(3) 「令和5年度学校経営計画」進捗状況について</p> <p>(4) 意見交換</p> <p>(5) 准校長あいさつ</p>																																				
4. 報告	<p><b>准校長あいさつ</b></p> <p>インフルエンザの流行で、中学部2年生が12月6日、7日の2日間学年閉鎖。11月25日に学習発表会を開催し、すごくいい形で終えることができた。</p> <p>今回は学校経営計画の現段階での進捗状況をお伝えさせていただく。忌憚のないご意見をいただければ。</p> <p><b>「授業アンケート等について」</b></p> <p>授業アンケートは、基本的に授業参観日に合わせて実施。管理職が確認した後に個々の教員に伝え、子どもの指導の改善や授業改善などに生かすようにしている。</p> <p>学校教育自己診断アンケートは、教職員と保護者はデジタル化し、Google フォームにて実施。生徒向けアンケートは、できるだけ慣れ親しんだ形でということで、紙媒体で実施。</p> <p><b>「令和5年度学校経営計画」進捗状況について</b></p> <p>1. 『希望する進路を実現できる力の育成』</p> <p>(1) 「キャリア発達を促す学習を充実させる」クリーンコースに加え、清掃・喫茶の生徒も清掃検定合格が目標。自己評価(1)ア、PTAと協力しての清掃活動。今年度は10月13日に実施。高等部生徒が、清掃の知識や、スキルを保護者に伝達する。(1)イ、企業体験実習人数は、中学部未定、高1計画あり、高2が13人。</p> <p>(2) 「地域との連携により校外活動を充実させる」外部講師は、砂地区の方も、熱心に子どもたちへ指導をしていただいている。新規の清掃場所として南寝屋川公園と砂児童遊園の2つを開拓。</p> <p>(3) 「学校行事や生徒会活動で、生徒間で協力して主体的に取り組む活動を充実させる」高等部と中学部の1学年ずつペアで活動する「きょうだい学年」を設定。</p>																																				

## 2. 『安全安心のための校内体制の整備』

(1) 人権研修を全員参加で2回実施予定。評価指標(1)個人情報の誤配付と漏洩事案0回に対し、5月に誤配付1件。これを受け、情報に特化したヒヤリハット、インシデント・アクシデントの様式の整備を進めている。

(2) ア、正しい人間関係の構築でSNSの使い方指導プログラム(案)を作成は、ホームルームの時間等を活用して、学期1回実施。(2)イ、心と体の学習も、子どもの実態に合わせホームルームや学年活動の中で取り組んでいる。

(3) 「身体の健康が保持増進され、精神的に安定して生活できるようにする」。子どもたちの心理的な安定、体の動き、環境の把握等の自立活動の計画作成では、外部の福祉人材活用に取り組んでいる。

(4) 「各種マニュアルを見直す」。アレルギー対応委員会でアレルギーのチェック不足が出ないような形式を検討中。

## 3. 『教員の専門性の向上と授業力の向上』

大阪府教育センターの授業力向上のパッケージ研修に取り組んでいる。

(1) ウ「授業公開、外部人材の活用」今年は公開授業に力を入れている。

(2) 「ICT機器を活用した教育実践を充実させる」。年度内にホームページにICTに加え、授業実践や教材もアップする予定。

## 4. 『開かれた学校づくり、センター的機能の発揮』

今年、本校が北河内の整備事業担当校。四條畷市含め、近隣四市の教育委員会と連携して北河内支援学校のリーディングスタッフとコーディネーターが四條畷市の小学校などに行き、支援相談や授業見学をするなどの取り組みをしている。公開授業を増やし、地域の方が見に来られるようにしていこうと考えている。

(2) 「学校と家庭との情報伝達性の向上とホームページの内容の充実を図る」。11月より、Googleフォームを活用した欠席連絡システムを運用。自己評価(2)安心メールを活用して、保護者配付文書を一部メールでの配付も進めている。学校教育自己診断アンケート等についてもGoogleフォームの活用が進んでいる。

## 5. 『校務の効率化による働き方改革の推進』

評価指標には各種PTを立ち上げ、具体的な立案を行うとあるが、経営会議を通じて検討していくという形に変えていく。

(2) 「非効率な業務負担を見直す等職場環境改善を推進する」。配付用文書のデジタル化は進んでいる。労働安全衛生委員会で、より良い職場にするための意見を募るための箱を設置。17時以降の勤務時間は、19時まで。超過勤務を減らすために労働安全衛生委員会が先生方にアナウンスや校内放送を入れるなどを実施していく。

### ○質問等

北口委員：

アレルギー対策で、チェックの仕組みが複雑化すればするほど、手順が形骸化してしまうことがある。

准校長：

本校も形骸化していたので、作り変えている。

杉本委員：

アレルギーの件で、報告をした保護者の対応、反応はどうだったか。

准校長：

電話で謝罪をさせてもらったが保護者はそこまでお怒りという感じではなかった。ただ、たまたま軽度な症状だったというのは、運が良かっただけ。今回の件は、学校がバツをつけられていれば防げた。両者が互いを信頼しすぎることによって疎かになることがある。

高塚委員長：

1. (1)の具体的な取り組みのイ「定着支援としてアフターケアの充実」という部分に関して、これはどう充実させるつもりだったのか。

竹田首席：

アフターケアについては、常に卒業した後は、しばらくは様子を見に行くということ必ずしている。福祉サービスを利用して、本人さんの様子を確認しながら、進めている。特に卒業後から安定するまでは、しっかりと。

高塚委員長：

アレルギー対応時のマニュアルはあるのか。シミュレーションもやっているのか。

准校長：

緊急対応マニュアルがあり、個別に子どもによって管理指導表と合わせて、アレルギー症状が出た場合の対応についても、主治医も含めて確認している。

筒井中主事：

エピペンの研修などはしているが、個々のシミュレーションはしていない。

高塚委員長：

何人かは緊急の対応が必要になるので、特にエピペンはやった方がいい。業務の効率化。1番多い人で何時頃まで、月にどれくらい残っているのか。

准校長：

19時以降に残る方は、17時の段階で管理職に報告というルール。それでも19時以降残る人はいる。11月などの学習発表会など、行事が絡んでくると、超過勤務の時間が増えることはある。平均的に40時間前後が数人いる。

目良補佐：

去年は門扉開閉員からの施錠依頼が引き継ぎ書に書かれていたが、今年は「なし」が多い。19時で帰ることが定着してきているのではないかと感じている。

准校長：

残っている人が3,4人決まっている。その人たちと面談をした。個人個人の働き方を改革していかないことには変わらない。

高塚委員長：

勤務超過が60時間、70時間の人が土日に来て、完全に80時間超えている状況で、その人に何かあった時に、「土日も来ていた」となると、学校はそれを把握できていなかったということになる。時間を把握しておくことが大切なので、必ずスリットする、書いてもらうことなどを絶対にしてもらいたい。万一そこで何かあっても対応できな

いというリスクを、みんなにはっきりと周知する。そういう管理のことが、学校として問われてくる。

准校長：

土日は校内で何かあった時に対応ができない。子どもたちのためを思って、業務に来ている教員の思いもあるので、その辺の兼ね合いやバランスの取り方が難しい。

●意見交換

北口委員：

親の会の学齢期やそれ以前の親御さんのアンケートで、小学部や中学部からの進路への関心が高くなっている。5. の効率化。業務改善のアイデアを出すには、いつでも意見を出していいという雰囲気の醸成が必要。

杉本委員：

どういう目的を持って3. (1)ウ地域教員への授業公開に取り組んでいるのか。

准校長：

インクルーシブ教育が取り入れられ、リーディングスタッフ制度もできたが、地域の支援教育力は向上していない。学習できる場や経験、体験できる場を作っていかないと推進していかない。できるだけ機会を増やし、地域の支援教育力の向上を図っていければと思っている。

杉本委員：

私たち福祉施設も地域と共にあると、大きく感じているのは同じ。学校が地域の皆さんに理解され、地域も学校を理解して、一緒にやっていければ。自治会の方も、生徒さんが散歩しているところに一緒に関わってくださっている。そうやって地域の皆さんに知っていただくことがすごく大事。

高塚委員長：

未だにコーディネーターやリーディングスタッフが、地域の支援教育力向上を目指す云々と言っているということは、全く進んでないということかも。地域の支援教育力を高めるということは非常に大切。子どもたちが卒業後に、地域にどう理解されるかも、そこにかかってくる。そういう意味でも、何かシステムのものがあってもいいと思うので、また考えてもらいたい。

地域の方の支援や繋がりもどんどん増えてきている。これは、坪井会長さんが中心になってやってもらっているいいところだと思う。この取り組みというのは、またぜひ進めていただきたい。

准校長：

地域に根差すというところは大きいので、今後もどんどん地域の方に入っていきたい。色々ご意見いただいたことについては、全部ではないかもしれないが、少しずつ変えていけたらと思っている。取り組めていないことで、頑張ることができることもあと思うので、また次回ご報告させてく。

5. 連絡

准校長：

2月の半ばから終わりぐらいに、第3回目を開催予定。ありがとうございました。